

# 統一教会と自民党 「反ワクチン」で結託

る。期間かかつたのは、副反応だけが理由なのか。厚生労働省からは、「科学的な問題ではなく、完全に『政治の話』」（同省関係者）との声が聞こえる。経緯を振り返ると、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と関係の深い自民党議員が登場す

教団の主張に沿う国会質問

子宮頸がんを予防するHPVワクチンが薬事承認されたのは二〇〇九年。このがんで亡くなる女性を大幅に減らせるはずだった。しかし、副反応の事案が報じられ、二三年四月から始まつた定期接種は二カ月余りで大幅に縮小された。接種勧奨の再開が決定したのは約八年後の昨年十一月。これだけ長

質問に立たれ、「各氏は「H.P.V.ワクチンの予防効果が低いのでは」「アナフィラキシー・ショックを起こす危険性が高いのではないか」といった点を質問した。

さらに、「子宮頸がんの増加の主因は、性交渉年齢の若年化と複数の相手との性交渉といわれている」と言及した。そのうえで「啓発活動をすべきと考えるが、政府の見解を示されたい」と述べている。「H.P.V.ワクチンは危険」「子宮頸がんは性の乱れが原因」とでも言わんばかりだ。

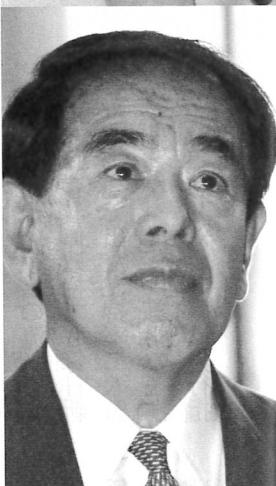
きたサイト」や「日刊カルト新聞」のリストによれば、山谷氏は〇二年に同教会の関連メディア「世界日報」のインタビューに登場している。また、過去の選挙で統一教会からの組織的な支援を受けてきた疑惑も浮上している議員だ。

世界日報は、継続的に「H.P.Vワクチン反対」のキャンペーンを繰り広げてきた。一三年以降、「特集」と銘打ち「子宮頸がんワクチン被害」についての記事を掲載。「予防」という名の人体実験」というタイトルで十七回にわたる連載

りも性倫理教育の推進を」と訴える「純潔ラリー」なるデモ行進を全国で行っていた。山谷氏の最後の質問をみると、旧統一教会のこうした考えに通じる。

やはり旧統一教会系団体のイベントへの出席が確認された自民党の参院議員、上野通子氏も一二年の質問で、次のように発言しているのだ。

「性知識が未熟な十代の女性にワクチン接種を奨励することは、性交渉の低年齢化に拍車をかけることになりかねない」



員、山本朋広氏である。山本氏は一七年に統一教会のイベントに出席し、教祖、文鮮明氏の妻、韓鶴子氏を「マザームーン」と呼び花束を渡したことが報道された。

旧統一教会に与するような国民党議員の動きは他にもある。本誌は一五年六月号の「日本のサンクチュアリ」で、「子宮頸癌ワクチン～薬害『捏造』で若き女性が殺されていく」という記事を掲載した。その中で、ワクチン販売を担う会社の社長の動きを次のように描写している。

「（社長は）反対派の一人である自民党参院議員、中川雅治氏の元を訪れ、説得を試みるも怒鳴りつけられてすごすご撤退。かえつて反対派を刺激する藪蛇に終わつた」

今夏の参院選での政治家引退を表明した中川氏は過去に二度、練

「教会のイベントに出席したこと  
が報じられた。うち一つは韓鶴子  
氏も登壇した大規模なものだつた  
副反応に苦しむ人の声に耳を傾  
けることは重要である。ただ、主  
要国は接種によるメリットが、リ  
スクを大きく上回ると断じていろ  
冒頭の厚労省関係者は憤る。  
「自民党議員は科学的なエビデン  
スは軽視する一方で、感情論に訴  
えて、結果として接種勧奨再開を  
妨害した」

厚労省は二三年六月、勧奨の停  
止が決まった際に、「早期の再開  
を目指して動いていた」（担当記  
者）と語る。しかし、雲行きはどう  
なんどん悪くなつていった。同年九  
月には、文科省が全国の国公私立  
の中学校、高校、特別支援学校など  
を対象にした接種後の欠席状況な  
どに関する調査結果を公表した。  
全国で百七十一人が接種後に登校  
できない状況になつたことがクロ

イメージが増幅された。

当時の文科相は下村博文氏。統一教会と密接な交流が取り沙汰された人物だ。下村氏は接種勧奨が中止される直前の一三年五月に被害者団体と面会し、その後調査を行いうよう指示を出している。

厚労省が接種勧奨の再開を目指した検討部会は一四年一月に開催された。ここでは、重い副反応について、「心身の反応によるものと考えられる」という結論が出た。これに対して被害者らが猛反発。「文科省による調査のイメージも影響し」(厚労省担当記者)早期の接種勧奨再開は頓挫した。ここに前述した参院自民党の決議が追打ちをかけて、問題は長期化を余儀なくされた。

結果として接種者は大幅に減少し、それは旧統一教会が目指した方針と合致した。教会の名称変更

「旧統一教会の政策が、不适当に自己の政策に影響を与えたとは認識しておりません」

今年八月十日、内閣改造を終えた岸田文雄首相は会見でこう話した。だが、子宮頸がん予防対策は大きく曲がった。旧統一教会の影響はなかつたといえるのか。

八年ものブランクで、接種できなかつた女性は将来、子宮頸がんを発症する可能性は高まる。救済措置は用意されているものの、この間の接種勧奨停止や、過去の報道によりHPVワクチンへのマイナスのイメージは残つている。ワクチン接種率が極端に下がつたことについて、少なくとも、自民당の旧統一教会系議員は、責任を感じるべきだろう。日本では子宮頸がんで、年間約三千人の女性が亡くなつてゐるのだ。

「旧統一教会の政策が、不适当に自己の政策に影響を与えたとは認識しておりません」

今年八月十日、内閣改造を終えた岸田文雄首相は会見でこう話した。だが、子宮頸がん予防対策は大きく曲がった。旧統一教会の影響はなかつたといえるのか。

八年ものブランクで、接種できなかつた女性は将来、子宮頸がんを発症する可能性は高まる。救済措置は用意されているものの、この間の接種勧奨停止や、過去の報道によりHPVワクチンへのマイナスのイメージは残つている。ワクチン接種率が極端に下がつたことについて、少なくとも、自民당の旧統一教会系議員は、責任を感じるべきだろう。日本では子宮頸がんで、年間約三千人の女性が亡くなつてゐるのだ。

二、教会に近い議員が接種を勧め、统一教会に反対する議員も現れる

(上から山谷えり子、下村博文、山本朋広、上野通子)

「旧統一教会の政策が、不适当に自己の政策に影響を与えたとは認識しておりません」

今年八月十日、内閣改造を終えた岸田文雄首相は会見でこう話した。だが、子宮頸がん予防対策は大きく曲がった。旧統一教会の影響はなかつたといえるのか。

八年ものブランクで、接種できなかつた女性は将来、子宮頸がんを発症する可能性は高まる。救済措置は用意されているものの、この間の接種勧奨停止や、過去の報道によりHPVワクチンへのマイナスのイメージは残つている。ワクチン接種率が極端に下がつたことについて、少なくとも、自民당の旧統一教会系議員は、責任を感じるべきだろう。日本では子宮頸がんで、年間約三千人の女性が亡くなつてゐるのだ。

二、教会に近い議員が接種を勧め、统一教会に反対する議員も現れる

(上から山谷えり子、下村博文、山本朋広、上野通子)



係ない」と臭いものに蓋をしようとしたことだ。結局、岸田は「もう一段踏み込んだ対応が必要」として、全所属議員の調査を決めた。

その麻生・茂木コンビを牽制する意味もあって岸田が描いた布陣に誰もが一目置く森山裕の選対委員長起用だった。岸田側近も「森山・萩生田コンビで党を仕切つてもらう」と語っていた。前回まだ当選四回で総務会長に抜擢された福田達夫が何とか大役をこなせたのは、森山が総務会長代行として支えたからに他ならない。ところが、茂木は福田を今回的人事で筆頭副幹事長に起用した。

「ついぶん福田さんはバカにされたもんだ。幹事長代行や代理ならまだしも二階級降格。福田さんは受けるべきではなかった」

祖父で元首相の福田赳氏を知る自民党長老は憤りを隠さない。森山は衆院議員全員が利害関係となる衆院小選挙区の「十増十減」に基づく公認調整問題を担う。森山にはもう一つの顔がある。昨年の岸田政権誕生とともに不遇をかこつ菅や元幹事長二階俊博らと行動

足元がふらつき始めた。「黄金の三年」どころではない。しかし、反岸田の筵旗を立てた「一揆」の動きはない。教会問題の広がりの中でだれも怖くて動けないというのが実情だ。総裁選で「小石河連合」と呼ばれた小泉進次郎、石破茂、河野の三人の動きも見えてこない。「解消はしていないが、会合もない」(石破)という。

東京五輪・パラリンピックのスポンサー選定をめぐる汚職事件でも政界に影が忍び寄る。受託収賄容疑で東京地検に逮捕された大会組織委員会元理事の高橋治之の人脈は政界にも及ぶ。高橋が経営し

を共にする非主流派の柱としての役割だ。森山派は所属議員が七人過ぎないが、権威ある全国治水砂防協会会長に就任するなど政界の実力者として一人気を吐く。岸田に対しても怨念に近い感情を抱く菅の数少ない相談相手でもある。菅は退陣の屈辱感を「今も忘れていない」(菅周辺)。そのため岸田の「コロナ無策」に対しても

役割だ。森山派は所属議員が七人に過ぎないが、権威ある全国治水砂防協会会長に就任するなど政界の実力者として一人気を吐く。岸田に対しても怨念に近い感情を抱く菅の数少ない相談相手でもある。菅は退陣の屈辱感を「今も忘れていない」(菅周辺)。そのため岸田の「コロナ無策」に対しても

## 日本政治の「負のスパイラル」再び

内閣改造を経て明らかに岸田の足元がふらつき始めた。「黄金の三年」どころではない。しかし、

反岸田の筵旗を立てた「一揆」の動きはない。教会問題の広がりの中でだれも怖くて動けないというのが実情だ。総裁選で「小石河連合」と呼ばれた小泉進次郎、石破茂、河野の三人の動きも見えてこない。「解消はしていないが、会合もない」(石破)という。

東京五輪・パラリンピックのスポンサー選定をめぐる汚職事件でも政界に影が忍び寄る。受託収賄容疑で東京地検に逮捕された大会組織委員会元理事の高橋治之の人脈は政界にも及ぶ。高橋が経営し

激しい怒りを覚えているようだ。しかし、改造前は菅に關してメ

ディアが要職起用説を盛んに報道したが、終わってみれば打診すらなかつた。菅グレープからの有力ポストへの登用もなし。昨年の総裁選で菅が推した河野太郎はデジタル担当相で入閣したが、菅への配慮ではなく河野が所属する麻生派内の攪乱戦略と見た方がいい。

内正喜会長、遠藤龍之介社長、組織委員会の高橋治之理事と会食

事件に関しては八月二十四日付の各紙朝刊が、森と贈賄側のAO KIホールディングスが会合を開いていたと報じた。森はこれを強く否定したが、事件が政界にも及んでいたと報じた。岸田が人事を前倒した背景にも、この事件の捜査が迫っていたことを指する自民党幹部もいた。

焦る岸田は矢継ぎ早に新方針を打ち出した。コロナ感染者の「全数把握」の見直し、なぜか唐突に原発の新增設を表明した。しかし、準備、根回しなき決断は岸田不信を拡大させた。

やること為すことが裏目に出ている。岸田は蟻地獄にはまつた。しかも劣勢挽回の「スピードのエース」が見当たらぬ。佐藤栄作、中曾根康弘、小泉純一郎という長期政権の後は短命政権が続いた。

既に七年八ヶ月の第二次安倍政権以降を引き継いだ菅は一年で終わった。岸田もその轍を踏むのか。日本の政治は再び悪しき「負のスパイラル」に陥る入口に立つている。

井上は今回の旧統一教会問題をめぐって参院選で支援を受けた筆頭格としてしばしば報道された。菅の政権時代は二〇年十二月十五日だった。

「そらしお」でフジテレビの宮官同席

井上は今回の旧統一教会問題をめぐって参院選で支援を受けた筆頭格としてしばしば報道された。

菅の政権時代は二〇年十二月十五日だった。

「そらしお」でフジテレビの宮官同席

井上は今回の旧統一教会問題をめぐって参院選で支援を受けた筆頭格としてしばしば報道された。

菅の政権時代は二〇年十二月十五日だった。

井上は今回の旧統一教会問題をめぐって参院選で支援を受けた筆頭格としてしばしば報道された。

菅の政権時代は二〇年十二月十五日だった。

井上は今回の旧統一教会問題をめぐって参院選で支援を受けた筆頭格としてしばしば報道された。

菅の政権時代は二〇年十二月十五日だった。

井上は今回の旧統一教会問題をめぐって参院選で支援を受けた筆頭格としてしばしば報道された。

菅の政権時代は二〇年十二月十五日だった。

井上は今回の旧統一教会問題をめぐって参院選で支援を受けた筆頭格としてしばしば報道された。

菅の政権時代は二〇年十二月十五日だった。

井上は今回の旧統一教会問題をめぐって参院選で支援を受けた筆頭格としてしばしば報道された。

菅の政権時代は二〇年十二月十五日だった。



未来に受け継ぐ遺産(復元された大極殿)

七月に衝撃的な事件の舞台となつたのは奈良県の大和西大寺駅前だつた。近畿日本鉄道(近鉄)の奈良線、京都線、橿原線が交わるこのターミナルから東に数百メートルの場所にいわゆる平城宮跡がある。現在は公園として整備されているこの地は一九二二年、史蹟名勝天然記念物保存法の対象となる史跡に指定された。つまり、今年は指定から百周年を迎えた節目の年なのだ。この地で発掘作業などをを行う奈良文化財研究所は記念のロゴを制定し、資料館では特別展などが行われている。

平城宮跡は五二二年には文化財保護法に基づく特別史跡にも指定された。また、九八年にユネスコの世界遺産に登録された「古都奈良の文化財」の一部でもある。それだけ歴史的に重要な史跡でありながら、実は長らく注目されされてこなかつたのが「百周年」の意味するところなのだ。

この地に遷都されたのは、「存じの通り西暦七一〇年。その後、小さな遷都は繰り返されつつも、七八四年までは平城京の世が続い

た。それから約一千二百年もの長きにわたり平城京は忘れ去られた存在だった。明治の時代、この地は見渡す限り田畠に姿を変えていた。そして、平城京の保存運動を始めたのは地元の住民だった。当時、「かつて都があった」との言葉で風化しており、都の重要建築

物である「大極殿」がどこにあつたかさえ定かではなかつたといつた。

ただし、長らく地元で「大黒芝」と呼ばれていた土地があつた。

そこで調査したところ瓦や敷き詰めたかさえ定かではなかつたといつた。奈良への遷都から一千三百年を迎えた二〇一〇年に、記念事業として大極殿が復元されている。

奈良への遷都から一千三百年を迎えた二〇一〇年に、記念事業として大極殿が復元されている。

一八年には朱雀門の前に広大な広場が完成。県が国と協力してす

暗殺された安倍晋三元首相の怨靈がお盆の政界をさまよっている。

和統一家庭連合(旧統一教会)との「関係」を巡るマスコミの追及は

八月中、政権と与野党を揺さぶり続けた。九月に入つても波はやみ

そうにない。岸田文雄首相の新型コロナウイルス感染で頼みの外遊が中止され、「流れを変える手持ち材料がない。宗教団体にとれるな対処方針を示して嵐が過ぎ去るのを待つしかない」(自民党幹部)

からだ。その無為無策こそが、コロナ対策や物価高、安倍氏国葬への不満と相まって、政権への信任を急速に悪化させる負のスパイラルにはまっている。

当初は九月初めを予定し、周辺にも示唆していた内閣改造・自民党役員人事を「サプライズ」で八月初めに前倒しした時の岸田首相は珍しく、してやつたりの表情を隠さなかった。昨年秋に衆院解散(全衆院議員の解職)を前倒ししたのに続いて、再び「最強の人事権者は誰か」を効果的に見せつけられようか。

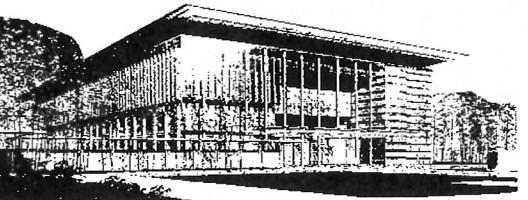
まつりごことが古来、洋の東西を問わず、共同体にとって意味ある死者の鎮魂にあつたことを思えば、そこは政治の原点である。今の政治家は習い覚えた技術はあっても、政治に全靈を捧げるシャーマニズムを絶望的に欠いている。

安倍氏は暗殺事件の被害者である。しかも容疑者自ら犯行前「本來の敵ではない」と認めていた。にもかわらず、死人に口なしとばかり旧統一教会問題の元凶のように言われている現状は、健全な言論状況とは言えない。

とはいひ旧統一教会問題が追及された結果、出直しを期したはずの人事で任命された閣僚・副大臣・政務官まで半数近くが「何らかの関係あり」とされる底なしの侵食ぶりは、驚きを超えて笑ってしまう。同会の教義など信者以外は知らないが、それでも韓国発祥の多分に「反日」的要素を含んでいる体質は知つてている。に

## 政界スキャン

連載………451



かじ取りの面から見れば、会心の人事だろう。最も腐心した安倍派は、腹心の松野博一官房長官を手

元に留め置き、保守派への「防波堤」と期待する萩生田光一氏を政調会長へ回し、ライバルの西村康

稔経済産業相を入閣させて競わせ、「安倍直系」を吹聴したがる高市

早苗氏を人事権のない経済安全保

障担当相で閣内に封じ込めた。「安

倍氏が「なかなかの人事巧

者」(故安倍氏の評言)なのは間違

いない。加藤勝信厚生労働相や浜

田靖一防衛相の再任も、手堅さ重

視の岸田人事らしい。

だが、平時なら合格でも「安倍暗殺」という異常事後の態勢固めとしては凡庸すぎて人心を落ち着かせる知恵がない。岸田首相には

「安倍暗殺」が引き起こす政界流動化・社会不安の巨大余震が、この程度の人事や国葬では済まない

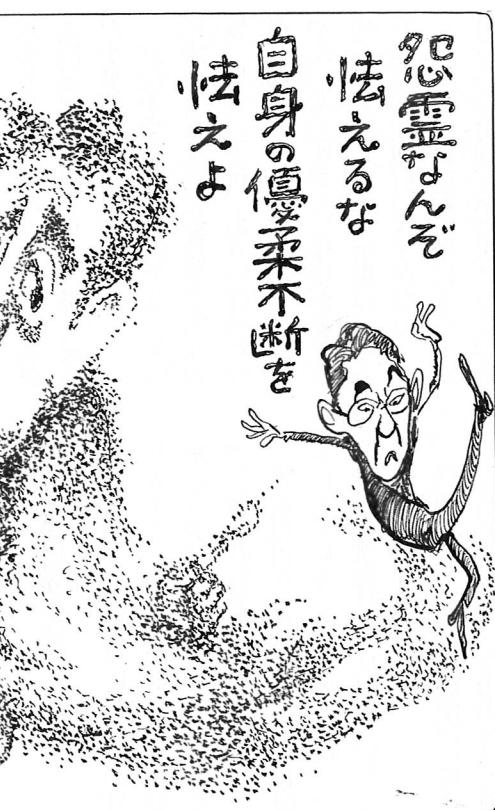
だろうという崩壊への気構えが致命的に欠けていた。それがいつ、

常識を切斷されたうろたえや怯えがこつちやになつて、犯行動機や葬儀形式といったとりあえずの論点めがけ噴出してゐる感情現象と考へないと理解しがたい。

「親安倍」「反安倍」のどちらも日本社会はあまり長い間、安倍政

治に依存すぎた。敵対心も含め平素慣れ親しんだ政治的思考・

感情の軸心を唐突に、理不尽に奪



どういう形で襲来するかという畏れ、動物的嗅覚が鈍すぎた。

\* \* \*

旧統一教会を避や国葬反対の世論は、世代別に見ると年齢が上になるほど増える。「安倍暗殺」を

政治や国のあり方と意味づけて考えようとする意識の有無が影響しているのは明らかだ。ということ

は、問題自体の賛否を超えて、政界最大勢力を率いる史上最長政権の元首相が、突然テロでいなくなつた空虚感に不意打ちされた民心の虚脱とも高揚とも知れない苛立

た、当てどない訴えや問い合わせ、常識を切斷されたうろたえや怯えがこつちやになつて、犯行動機や葬儀形式といったとりあえずの論点めがけ噴出してゐる感情現象と考へないと理解しがたい。

「親安倍」「反安倍」のどちらも日本社会はあまり長い間、安倍政

治に依存すぎた。敵対心も含め平素慣れ親しんだ政治的思考・

感情の軸心を唐突に、理不尽に奪

離を実践していたのだ。「反日」体質に怒つて敵対した時期もある。

それでも「熱心な活動力と動員力は貴重だった」(別の古参右翼)ため関係は続いたが、微妙な一線は引いていたといふ。

政治は清濁併せのむ度量も必要だ。だからこそ常に相手の魂胆と本質を見抜く感覚と心棒を持つていいと足をすくわれる。右翼を美化する訳ではないが、情けないことに今の政界にこうした緊張感はどこにもない。安倍政治で「保守派」が我が世の春とばかり浮かれはしやぐ間に「反共」を「家族

「家庭」で置き換えた旧統一教会の別名組織にあつけなく侵食されていったわけだ。「探せばいくらでも出てくる。全国の県議・市議まで広げたら收拾がつかない。来年春の統一地方選まで続いたら大混乱だ」(自民党幹部)。

岸田官邸には当初「関係あるのは安倍派か安倍チルドレン。流れは安倍派解体へ向かう」という楽観論もあつたが、内閣支持率急落に青ざめだした。集中豪雨の奔流を制御できなければ、岸田政権も一緒に流されかねない。(裏)

日本統一教会初代会長、久保木修己は、若くして立正佼成会の会長秘書を務めたが、青年部の会員数十人を率いて統一教会に転じた。一九六〇年代、創価学会や生長の家など新興宗教が政治に進出

もかかわらず「安倍さんのお墨付きだから右に倣え」と頼りにする安易さは、安倍政治の基盤だった「保守派」「保守層」の薄っぺらさを期せずして暴いた。それもまた怨靈の功德というべきか。

\*

\*

日本の統一教会初代会長、久保木修己は、若くして立正佼成会の会長秘書を務めたが、青年部の会員數十人を率いて統一教会に転じた。一九六〇年代、創価学会や生長の家など新興宗教が政治に進出

した。しかし、宏池会(岸田派)らしい官僚的危機管理の発想である。確かに党内勢力バランスと政策

確かに党内勢力バランスと政策

# 安倍派はどう分裂するのか

「国葬終了」が瓦解への序章

会員登録をすると、青玉版の会員登録ができます。

トップ不在の大組織で求心力を維持することは難しい。自由民主党の最大派閥、安倍派(清和政策研究会)を巡り、かねて囁かれていた「分裂」が、派閥领袖だった元総理大臣・安倍晋三の死去により、いよいよ現実味を帯びてきた。トリガーになると見られるのが、九月二十七日に予定される安倍の国葬だというのだから、かくも権力闘争とは冷酷である。

安倍の銃撃事件からほぼ一ヶ月がたった八月四日の安倍派例会。会長代理の塙谷立は「今まで皆が安倍元総理に頼ってきたかもしれないが、その存在がなくなつた時、一人一人が力を発揮して政権を支え、今の国難を乗り越えていくことが我々の責任だ。政策集団として、しっかりとまとめていく」と結束を訴えた。

その呼びかけから三日後、塙谷や、塙谷とともに安倍派会長代理を務める下村博文を畠山とさせた想定した打算が働く。

それゆえ、国葬後に安倍派が割れる展開となつても、「真っ二つにはならず、一部議員が抜けて対三の二分割になるか、三つに割れるか、いくつかのシナリオが考えられる」と言われる。

萩生田が強引に派閥継承を進めた場合、萩生田につく議員が三、「反萩生田」が七になる可能性もある。「反萩生田」の旗頭が同じ岸系の下村になるか、西村になるかでもこの比率は変わってくる。

八月十日の内閣改造・自民党役員人事で党四役を外れ、入閣もなかつた福田達夫も、福田系を束ねられるという意味でキーマンの人だ。「旧統一教会が自民党政権の政策に影響を与えたことはなく、何が問題か分からぬ」と口にして批判を浴びただけでなく、将来

## 中心に磁力のない派閥

もつとも、過去、百人近くに膨れあがった派閥は、例外なく割れている。現在の安倍派も、前例に

安藤派の中では、



下村博文・安倍派会長代理



西村康稔経済産業相

の総理・総裁への野心を事あるごとに否定していく。派内で多数派工作をする気配もない。とはいえ、もともと能力が高く、祖父・赳氏、父・康夫の威光もある中で閥務に汗をかけば、安倍派の中核になり得る存在だ。

福田達夫は、安倍派が現在の規模を保つことで自民党政権の安定が維持できるとの考えを示している。岸田率いる宏池会(岸田派)が衆参両議員合計で四十三人の第四派閥に過ぎなくとも、九十七人の安倍派が支える限り、政権基盤は揺るがないという考え方だ。

かといって、安倍派のように所属国会議員の四人に一人が名を連ねる大派閥になると、内部の意思疎通さえ容易でなく、「派中派」が生まれやすい。茂木派(平成研究会)の五十四人、麻生派(志公会)の五十人、岸田派、二階派(志帥会)の各四十三人あたりが適正規模だと見ることもできる。

自民党総裁候補として名を挙げていた萩生田光一と総理大臣・岸田文雄との「さし会談」だった。

総理大臣公邸での会談では八月十日の内閣改造・自民党役員人事に関し、萩生田自身の処遇だけでなく、安倍派の入閣候補についても意見が交わされた。

本来、派閥の入閣要望は、領袖が事務総長から総理大臣官邸に意式をとらなかつたのは、党総裁が派閥無視の独断専行で人事を決めた小泉純一郎内閣ぐらいだ。

会長が空席の安倍派では、岸田は、塙谷、下村、あるいは当時の事務総長・西村康稔であるはずだった。その頭越しに岸田が萩生田から派の事情を聴く展開は、塙谷らにとつて面白いはずがない。

もし、岸田が安倍派にくさびを打ち込む意図で萩生田との会談をした例と通じる」というのだ。

## 「反萩生田」が多数に

岸田の本意が那辺にあつたかはともかく、萩生田が事実上、安倍派の人事の「窓口」となつたことで、派内の亀裂は広がつた。

安倍派内からは「国葬までは静かにしている。国葬が済めば、一部議員の離脱は避けられない」といった観測も聞かれる。周知のように、安倍派内には二つの潮流がある。元総理大臣・福

田赳氏の流れをくむ比較的の穩健な保守派と、元総理大臣・岸信介の系譜にある右派色の強いタカ派だ。二〇一二年の自民党総裁選で、当時の派閥领袖だった「福田系」の町村信孝と「岸系」の安倍が争つたことで、ミシン目は鮮明になつた。萩生田は岸系に連なる。

岸の孫である安倍が総理大臣在任中に派閥を拡大したこともあり、表面的には岸系が多数派を占めている。ただ、全盛期の安倍のものに身を寄せた若手の多くは、政策理念への共鳴という以上に、選挙の弱さをカバーするために「強いリーダー」を頼ってきた面が大きい。安倍の死で強力な後ろ盾を失つた今、安倍の後継が萩生田だろうが、下村だろうが、西村だろうが、自身の選舉にプラスとなる人気と、ポストやカネを配る才覚、

行つたのであれば、なかなかの策士だ。だが、党内ではむしろ、「岸田赳氏の流れをくむ比較的の穩健な保守派と、元総理大臣・岸信介の系譜にある右派色の強いタカ派だ。二〇一二年の自民党総裁選で、当時の派閥领袖だった「福田系」の町村信孝と「岸系」の安倍が争つたことで、ミシン目は鮮明になつた。萩生田は岸系に連なる。

岸の孫である安倍が総理大臣在任中に派閥を拡大したこともあり、表面的には岸系が多数派を占めている。ただ、全盛期の安倍のものに身を寄せた若手の多くは、政策理念への共鳴という以上に、選挙の弱さをカバーするために「強いリーダー」を頼ってきた面が大きい。安倍の死で強力な後ろ盾を失つた今、安倍の後継が萩生田だろうが、下村だろうが、西村だろうが、自身の選舉にプラスとなる人気と、ポストやカネを配る才覚、



